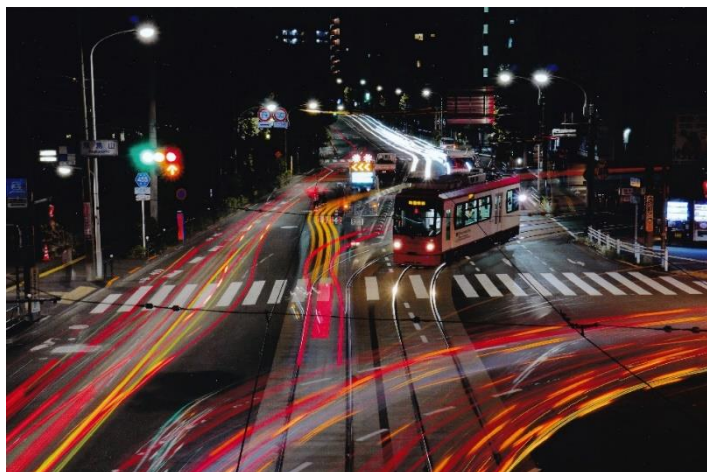


全日本写真連盟広島県本部 第9回 路面電車のある風景フォトコンテスト 審査結果

主催：全日本写真連盟広島県本部
応募者数：26人
応募点数：78人
審査・講評：関西本部委員 田中 賢



推薦

「車の往来をまつ都電」岡本洋三（東京都）
信号待ちする電車の周りに車の光跡を多数写し込むことによって、錯綜する都会の交通状況を巧みに表現しています。緻密な撮影計画が感じられる秀作です。



特選 「大雪の朝」

朝枝加津子（フォトシャッセ）
この撮影場所を探すのは容易かもしれませんが、この状況や瞬間をとらえることは至難の業と思います。雪の粒をきっちと止めて描写しているので時間が静止した感覚になります。



特選 「点検中」 三次凱彦（広島支部）

路面電車の運行を支える作業者に着目し、作業の状況と電車との関係性を的確にとらえています。このような点検作業によって日々の安全運行があることを知り、爽やかな気持ちになりました。



準特選 「行き交う人」

荒木忠義（広島支部）



準特選 「厳冬」

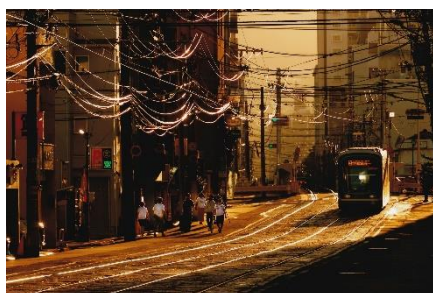
中林成之（広島タウン支部）

準特選 「被爆ポンプ」

辻重樹（広島タウン支部）



入選 「あの日から 77 年」
河野宏志（広島タウン支部）



入選 「夕暮れ」
安田慶子（広島タウン支部）



入選 「またね」
平野俊博（広島タウン支部）